

行政視察報告書

委員会名	教育民生委員会
派遣委員	委員長 芝田 英範 副委員長 平川 幸司 委員 伊藤 淳 委員 広田 精治 委員 匹田 郁 委員 吉岡 勲
日程	令和7年10月23日(木)
視察先	長野県千曲市
調査項目	中学校の部活動の地域移行について

1. 調査目的

令和5年度より、千曲市と坂城町で学校や地域と連携を図りながら、部活動を段階的に地域に移行するため、千曲坂城クラブを設立、すべての子どもたちにスポーツ・文化芸術活動ができる環境を保障することを基本理念に18の専門部を開設し活動しています。

学校間移動の支援、オンラインによる指導者研修の実施や支援学校のクラブ参加など、千曲坂城クラブの具体的な状況として、1市1町合同でのクラブの設立から現在の活動状況などを教授いただき、白杵市における円滑な部活動の地域移行に向け、より充実した検討が行えることを目的に調査・研究を行いました。

2. 調査内容

(1) 視察先の概要

長野県北信地域の南東部に位置し、西は冠着山(かむりきやま)、東は鏡台山をはじめとする山地に囲まれています。そのほぼ中央を、東南から北東に大きく曲がりながら千曲川が流れており、千曲川をはさんで両岸には平坦部が広がり、北は善光寺平に接しています。

現在、市の北部には、首都圏と北陸圏を結ぶ上信越自動車道と、中央自動車道につながる長野自動車道が結ばれる更埴ジャンクションがあり、高速交通網の要の役を果たしています。

(2) 調査結果

千曲市は、隣接する坂城町と合同で地域クラブを設立しています。両市町は、部活動の地域移行を検討する以前から、千曲市の4中学校と坂城町の1中学校で部活動の運営・計画等について検討委員会を組織し、同一歩調で進めていた背景もあり、合同でのクラブの設立に至っています。

単なる部活動の地域移行ではなく、自治体の責任として「地域の子供たちは、学校を含めた地域で育てる」との共通認識のもと、地域づくりの一つとして「千曲坂城クラブ」を設立、運営を行っています。

学校の事を知らない地域移行を進められない部分があるとして、検討開始から現在まで、校長経験者である指導主事が、地域移行の担当(現在は、総括コーディネーター)をされているとのことです。地域移行を実現するため、保護者をはじめ、関係機関・団体、市の関係部署などに対して時間をかけ丁寧に説明することを心掛けたことで、協力を得られてきたことがわかりました。

クラブには、18の専門部があり、障がいの有無に関わらず参加できるクラブを目指し、市内にある養護学校も参加しています。

持続可能なクラブとするために、賛助会員や企業版ふるさと納税を募集したりするなど、財源の確保に積極的に取り組んでいます。令和8年度からは、完全にクラブ化される予定とのことですが、特に平日の送迎や指導者の確保などの課題もあることがわかりました。

3. 委員会の所感

「地域の子供たちは、学校を含めた地域で育てる」という認識のもと、地域クラブの設立について、保護者・関係機関・団体等との協議では、時間をかけて根気強く説明を続けた結果、理解と協力を得られた点は、本市も学ぶべきところであると考えます。また、千曲坂城クラブの設立には、リーダーシップのある総括コーディネーターの存在が大きいと感じました。

地域クラブに参加していた生徒が、高校卒業後に指導者として活動している点は、クラブとして望ましい形が出来ていると感じました。

地域クラブの運営委員会には、生徒、保護者の代表も委員となっており、課題の解決に向けて一緒に検討、協議し、取り組みを進めている点は、特に参考になりました。

中学校の部活動の地域移行については、学校の働き方改革に主眼を置いて地域移行を進めるのではなく、子どもたちがどうあるべきか、子どもたちのことを考えて取り組むことが重要であると感じました。

4. 視察状況

